

平成26年度に実施した各種防災訓練について

1. 平成26年度習志野市総合防災訓練

習志野市における地震災害による被害を最小限にするため、市民・関係機関・市の連携強化と、市民の防災意識の向上を図ることを目的として、下記のとおり実施した。

日 時

平成26年9月28日（日） 10時から14時（サブ会場は正午まで）

訓練会場・項目

訓練会場	項 目
メイン会場 (市役所前 グラウンド)	(1) 関係機関連携訓練 「関係機関と市の連携強化」をテーマに、車内閉じ込め現場や倒壊家屋等からの救出から搬送、応急救護所でのトリアージまでの一連の訓練を行った。 (2) 防災フェア 「市民の防災意識の向上」をテーマに、「防災フェア」と称し、防災関係事業者による防災用品の販売ブースを設けた。また、特殊車両展示や啓発コーナーなど、関係機関による展示・啓発を行った。
サブ会場 向山小学校 谷津小学校 実籾小学校 県立実籾高校	(3) 避難所開設・運営訓練 「市民と市の連携強化」をテーマに、会場となる体育館に地区対策支部（本来は職員室等）や避難所を開設し、避難者との連携を図るとともに、昨年度より一歩踏み込んだ避難所運営訓練を実施した。

訓練参加機関

メイン会場

(1) 関係機関連携訓練

陸上自衛隊第1空挺団、習志野市消防本部、習志野市消防団
習志野市消防協力隊、習志野市建設協力会
習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、日本救助犬協会

(2) 防災フェア

防災関係業者（防災用品の展示・販売）
習志野警察署（災害対策車両ユニモグの展示・紹介）
陸上自衛隊第1空挺団（各種車両等の展示・紹介、野外炊具による炊き出し）
習志野市消防本部（拠点機能形成車の展示・紹介、はしご車体験）
日本救助犬協会（災害救助犬とのふれあい）
東京電力（分電盤シミュレーションの展示・紹介）
NTT東日本（災害用伝言ダイヤル171の展示・紹介）
社会福祉協議会（災害ボランティアセンターの体験・紹介）
習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会（災害時の活動紹介）
千葉県水道局（給水車による給水活動）
習志野市企業局（マイコンメーターの復帰方法）

サブ会場

(3) 避難所開設・運営訓練

防災関係団体（地元町会・自治会・自主防災組織・民生委員児童委員）
習志野市企業局、習志野警察署
向山小学校、谷津小学校、第一中学校、県立実籾高等学校
習志野市地区対策支部職員・避難所配備職員

参加人数

メイン会場

約1,600名
（一般市民 約1,200名 関係機関・市職員・来賓 約400名）

サブ会場

約700名
（向山小学校 約176名 谷津小学校 約69名
第一中学校 約227名 実籾高校 約165名
学校職員・市職員 約40名）

メイン会場・サブ会場合計

約2,300名

主な課題・所見等

メイン会場

- (1) 訓練の調整段階で、各機関との関係を深めることができたことは大きな成果であった。
- (2) 防災フェアでは、初めての試みとして、防災関係の民間業者による防災用品の展示・販売を行い、好評を得た。
- (3) チラシやポスターによる広報を積極的行った結果、幅広い年齢層の御参加をいただいた。今後も、多くの方に参加してもらえような訓練内容や広報方法を工夫したい。

サブ会場

- (1) 昨年度の訓練の課題を踏まえ、参加者に理解を深めていただくため、市職員による説明を充実させた。また、訓練趣旨やスケジュール等を記載したプログラムを配布した。これらにより、昨年度に比べ、訓練内容については参加者に概ね伝えられたと考えている。
- (2) 避難所開設・運営訓練は、繰り返し行うことで、市民や担当職員に少しずつ定着が図られると考えられるため、今後も継続的に実施したい。

2. その他の訓練・訓練予定について

○ 水害対処訓練【平成26年5月】

出水期を前に、水害対処能力の向上を目的として、庁内各部が連携した訓練を実施した。訓練は、水害時の災害想定を基に、時間経過に応じてコントローラーが状況を付与し、プレイヤーが対応する形式で、下記の4項目を実施した。

(1) 情報収集・伝達訓練

コントローラーから付与された被害情報等を庁内各部で情報共有する訓練

(2) 巡回チーム派遣訓練

被害発生危険地区に巡回チームを派遣し、情報を危機管理課へ報告する訓練

(3) 交通統制・誘導訓練

通行止めが必要な現場で、通行止め措置及び交通誘導を行う訓練

(4) 排水訓練

浸水被害のあった地区に消防署と消防団のポンプ車を派遣し排水作業を行う訓練

参加者は市職員152名。風水害対応について庁内の部局間で共通の認識を得られたこと、また、市内の冠水箇所や通行止め箇所などの災害情報をリアルタイムでホームページに掲載するシステムを試行し、機能することができることが確認できたことが主な成果であった。

一方で、災害対策本部で収集した被害情報のホワイトボードへの記入や関係部局への伝達において、情報量が増えたときの情報処理の流れに関する課題が浮かび上がった。

○ 水害時情報処理訓練【平成26年7月】

5月に実施した水害対処訓練で浮かび上がった課題のうち、災害対策本部での被害情報の処理手順に焦点をおいた課内訓練として、「水害時情報処理訓練」を実施した。

この訓練では各職員の役割を明確にし、予め定めた情報記入様式を使用することにより、情報の流れを統一化することができた。

○ 災害時安否確認訓練【平成26年4月・11月・平成27年3月（予定）】

災害時に迅速に職員の安否を確認することは、その後の市の災害対応業務を行う上で重要であることから、職員登録制メールに付随するアンケート機能を活用した訓練を、早朝と夜間の時間帯を選んで実施した。今年度は、3月に3回目の訓練を実施する予定である。

○ 帰宅困難者対応図上訓練（実施予定）

昨年2月の大雪による帰宅困難者の発生を踏まえ、大雪を想定した図上訓練を下記のとおり実施予定。

(1) 日時 平成27年2月4日（水）

(2) 会場 消防本部庁舎 5階講堂

(3) 参加機関 津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会メンバー